

## 被災地で何を見て、何を聞き、何を考えるか

河北新報社・武田真一

### ◎「震災は終わっていない」を確認する

- ・ 6年経過し、復旧復興は数字上進展
- ・ 外見上は被災の現実遠のく
- ・ 一方で、行方不明者の捜索、慰霊の祈りは続く
- ・ 関連死、孤独死、自殺も続く

### ◎「震災を忘れない」の意味を考える

- ・ 被災地支援はもちろん継続、深化が必要
- ・ 一方で、負担感、惰性感、疲労感が広がる
- ・ 「もういいんじゃない」の本音
- ・ 遺族による「犠牲を無にしないで」の訴え
- ・ 「自分のために忘れないで」の呼び掛け
- ・ 迫られる「ひとごと」から「わがこと」への転換

### ◎地域や地方から社会を問う視点を深める

- ・「差別あるところに公害起きる」の警句
- ・震災でも見えた「格差で被災深刻」の構図
- ・末端から社会のありようを探る視点の大切さに気づく

### ◎震災・災害を社会参加の出発点にする

- ・「わがこと」意識は社会問題の普遍テーマ
- ・コミュニティー、社会と自分の関わり考える入り口に
- ・進路選択や仕事の意味を問い直す土台にもなる

以 上